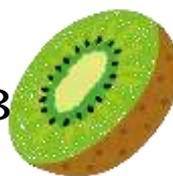


キウイフルーツ特報No.3



2019. 6. 17

J A 中野市園芸課

J A中野市キウイフルーツ研究会

前年に比べ、生育が7～10日程遅れている状況です。

病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

また高品質生産に向け、適期に適正なフルメット処理を行いましょう。

1、病害虫防除

7月上旬 果実軟腐病 対策 (10aあたり 350リットル)

水	100ℓ
展着剤	10ml
ダコニール1000	100ml (60日前、7回)

*ダコニール1000に代えてベンレート水和剤 2000 倍(7 日前、5 回)でもよい。

*カメムシの吸害が心配される園地(山間部、街灯が近くにある等)では、アディオン乳剤 2000 倍(7 日前、5 回)を加用する。

◇ 夏季管理講習会について

今年は夏季管理についての講習会を開催いたします。
都合をつけてご参加ください。

日時 : 7月9日(火) 午前 11 時
集合場所: 日野出荷所(日野事業所の向かい)
内容 : 新梢管理について(芽かき、誘引、摘心)

【新梢管理】

⇒一定の明るさを保つよう管理する

② 7月上旬頃より、2～3 回新梢管理を行ない、棚面の明るさを保つ。

②その後も、新梢の巻き付き部や徒長枝の整理を行う。

次頁もご覧ください。

2、フルメット処理

①処理時期目安

・赤肉・黄肉系品種(レインボーレッド/ゴールド)

満開日	20日後	25日後	30日後
6/2	6/22	6/27	7/2
6/3	6/23	6/28	7/3
6/4	6/24	6/29	7/4
6/5	6/25	6/30	7/5
6/6	6/26	7/1	7/6
6/7	6/27	7/2	7/7

・緑肉系品種(ヘイワード)

満開日	20日後	25日後	30日後
6/10	6/30	7/5	7/10
6/11	7/1	7/6	7/11
6/12	7/2	7/7	7/12
6/13	7/3	7/8	7/13
6/14	7/4	7/9	7/14
6/15	7/5	7/10	7/15

②処理方法 処理は年1回だけです。時期に応じて濃度を調整してください。

処理時期	処理濃度	処理方法
満開 20～25日後	2.5ppm (水4ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理
満開 25～30日後	5ppm (水2ℓにピン1本10ml)	果実浸漬処理

③処理上の注意

- ・処理後に降雨がない日を選ぶ。乾ききる前の降雨で効果が低下する。
- ・着果量が多いと樹体への負担が過剰となり、樹勢低下や隔年結果の原因になりやすい。
⇒樹勢に応じた処理と適正着果量に摘果を行う必要がある。
- ・処理濃度が高かったり、処理時期が早く、過度に果実が肥大すると、
変形したり糖度が低下するなどの問題を生じやすい。
- ・奇形果として、果頂部の突出や扁平果、果梗部の亀裂の発生などがあり、果肉の軟化や落果なども生じやすいので注意が必要である